

平成28年度 第1回小矢部市総合教育会議

次 第

日時 平成28年4月28日(木) 午後4時

場所 小矢部市役所特別会議室

- 1 開会
- 2 市長挨拶
- 3 協議事項
 - ・小中学校の統廃合について
- 4 報告事項
 - ・平成28年度小矢部市教育委員会重点施策の概要について
- 5 その他
 - ・スケジュールについて
- 6 閉会

平成28年度第1回小矢部市総合教育会議 出席者名簿

構成員	市長	桜井 森夫
	教育長	野澤 敏夫
	教育長職務代理者	佐々木 稲男
	教育委員	津山 玄亮
	教育委員	古村 正明
	教育委員	西永 勉
説明員	総務部長	栢元 剛
	教育委員会事務局長	深田 数成
	教育総務課長	間ヶ数 昌浩
	生涯学習文化課長	横川 和弘
	スポーツ課長	野沢 弘一
	こども課長	吉倉 千里
事務局	総務課長	唐嶋 宏
	総務課課長補佐	池田 孝夫
	総務課主事	辻岡 直希

小教統審第 1 2 号

平成 1 8 年 8 月 2 9 日

小 矢 部 市 長 様

小矢部市小中学校統廃合審議会

会 長 荒 川 昌 夫



小矢部市立小中学校の適正規模及び適正配置
並びに通学区域の合理化について (答申)

標記の件について、小矢部市小中学校統廃合審議会は、平成 1 7 年 7 月 2 6 日付け小
教教第 8 9 号で諮問を受け、慎重に審議を重ねた結果、別紙のとおり結論を得ましたの
で、ここに答申します。

小矢部市立小中学校の適正規模及び適正配置 並びに通学区域の合理化について

答 申

1 はじめに

学校の小規模化等に伴う諸問題について、学習指導面、児童生徒の生活面、学校運営上の観点等からの審議を重ね、一定の結論に達したので、ここに答申します。

2 適正な教育環境を確立するための講ずべき方策について

少子化傾向が続く中で、学校をめぐる状況変化のために、児童生徒の教育環境面からも課題が生じてきており、複式学級や全学年単学級の小規模校においては、学校運営上のデメリットを解消して、活性化を図ることが必要であり、教育効果の面からも適正な学校規模を確保する必要がある。

その基準としては、小学校ではクラス替えが可能である1学年2学級以上、中学校では、1学年3学級以上あることが望ましい。

その事から、子どもにとってより良い学習環境を整備していくために、また、総合的な教育効果を高めるためにとるべき方策として、あるいは、財源を理由とした学校施設の効率的な運営を図る必要性からも、今後、学校の適正配置を進めなければならない。

このような現状を踏まえて、前述した懸案事項を解消することによる適正な教育環境を確立する方策としては、統廃合による適正規模化を図ることが必要である。その際には、通学環境等の変化から関連通学区域の見直しを図る必要もある。

当市における児童・生徒数の推移から勘案すると、当面、望ましい小学校数は、3～4校、中学校数は、2～3校と考える。

具体的な講ずべき方策として、

- ① 岩尾滝小学校を1両年のうちに石動小学校へ統合する必要がある。
- ② 東部小学校を石動小学校へ統合し、教育環境の整備を図る必要がある。その際には、隣接小学校の区域の一部を含めて通学区域をも見直して、適切な通学環境の構築を図ることも必要である。
なお、東部小学校、石動小学校ともに校舎等建物は、耐震化構造となっていないことから、今後、大規模改造工事が必要とされるので、石動小学校の工事計画と連携を図った形での統合が望ましい。
- ③ 中学校については、通学区域の見直しも含めて津沢中学校と蟹谷中学校を統合し、教育環境の整備を図る必要がある。

3 おわりに

これら方策を講じていくにあたっては、児童・生徒の通学面に不安が生じることのないよう、万全な対応が必要であること、また、地域社会の中核である現校舎並びに敷地の統合後の利用方策などについても留意していくことが必要である。

これらの対応にあたっては、市財政事情の厳しい状況の中ではあるが、教育行政における現下の最大の課題として取り組まれて、子どもたちが、健全に育成されるように、より一層努めていただきたい。

なお、今後、少人数による学級編制についての改定も視野に入れた対応を考慮していくことも必要である。

学校区別年齢別人口(2016年～2025年)

	和暦	西暦	小1		小2		小3		小4		小5		小6		小学校計		中1		中2		中3		中学校計	
			児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	児童数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数	生徒数	クラス数
石動小・中	平成28年	2016	66	2	69	2	50	2	75	2	81	2	70	2	411	12	98	3	115	3	105	3	318	9
	平成29年	2017	55	2	66	2	69	2	50	2	75	2	81	2	396	12	95	3	98	3	115	3	308	9
	平成30年	2018	62	2	55	2	66	2	69	2	50	2	75	2	377	12	100	3	95	3	98	3	293	9
	平成31年	2019	53	2	62	2	55	2	66	2	69	2	50	2	355	12	97	3	100	3	95	3	292	9
	平成32年	2020	56	2	53	2	62	2	55	2	66	2	69	2	361	12	67	2	97	3	100	3	264	8
	平成33年	2021	54	2	56	2	53	2	62	2	55	2	66	2	346	12	88	3	67	2	97	3	252	8
	平成34年	2022	65	2	54	2	56	2	53	2	62	2	55	2	345	12	74	3	88	3	67	2	229	8
	平成35年	2023	69	2	65	2	54	2	56	2	53	2	62	2	359	12	72	3	74	2	88	3	234	8
	平成36年	2024	71	3	69	2	65	2	54	2	56	2	53	2	368	13	76	3	72	2	74	2	222	7
平成37年	2025	71	3	71	3	69	2	65	2	54	2	56	2	386	14	73	3	76	2	72	2	221	7	
石動小(東部小統合)	平成28年	2016	74	3	88	3	67	2	97	3	100	3	95	3	521	17								
	平成29年	2017	72	3	74	3	88	3	67	2	97	3	100	3	498	17								
	平成30年	2018	76	3	72	3	74	2	88	3	67	2	100	3	477	16								
	平成31年	2019	73	3	76	3	72	2	74	2	88	3	67	2	450	15								
	平成32年	2020	67	2	73	3	76	2	72	2	74	2	88	3	450	14								
	平成33年	2021	65	2	67	2	73	2	76	2	72	2	74	2	427	12								
	平成34年	2022	84	3	65	2	67	2	73	2	76	2	72	2	437	13								
	平成35年	2023	86	3	84	3	65	2	67	2	73	2	76	2	451	14								
	平成36年	2024	88	3	86	3	74	2	65	2	67	2	73	2	453	14								
平成37年	2025	89	3	88	3	86	2	74	2	65	2	67	2	469	14									
大谷小・中	平成28年	2016	57	2	66	2	55	2	64	2	58	2	74	2	374	12	68	2	83	3	76	2	227	7
	平成29年	2017	56	2	57	2	66	2	55	2	64	2	58	2	356	12	74	3	68	2	83	3	225	8
	平成30年	2018	63	2	56	2	57	2	66	2	55	2	64	2	361	12	58	2	74	2	68	2	200	6
	平成31年	2019	56	2	63	2	56	2	57	2	66	2	55	2	353	12	64	2	58	2	74	2	196	6
	平成32年	2020	50	2	56	2	63	2	56	2	57	2	66	2	348	12	55	2	64	2	58	2	177	6
	平成33年	2021	61	2	50	2	56	2	63	2	56	2	57	2	343	12	66	2	55	2	64	2	185	6
	平成34年	2022	67	2	61	2	50	2	56	2	63	2	56	2	353	12	57	2	66	2	55	2	178	6
	平成35年	2023	55	2	67	2	61	2	50	2	56	2	63	2	352	12	56	2	57	2	66	2	179	6
	平成36年	2024	56	2	55	2	67	2	61	2	50	2	56	2	345	12	63	2	56	2	57	2	176	6
平成37年	2025	56	2	56	2	55	2	67	2	61	2	50	2	345	12	56	2	63	2	56	2	175	6	
蟹谷小・中	平成28年	2016	27	1	32	1	27	1	37	1	44	2	37	1	204	7	44	2	37	1	38	1	119	4
	平成29年	2017	32	1	27	1	32	1	27	1	37	1	44	2	199	7	37	2	44	2	37	1	118	5
	平成30年	2018	36	1	32	1	27	1	32	1	27	1	37	1	191	6	44	2	37	1	44	2	125	5
	平成31年	2019	36	1	36	1	32	1	27	1	32	1	27	1	190	6	37	2	44	2	37	1	118	5
	平成32年	2020	30	1	36	1	36	1	32	1	27	1	32	1	193	6	27	1	37	1	44	2	108	4
	平成33年	2021	29	1	30	1	36	1	36	1	32	1	27	1	190	6	32	1	27	1	37	1	96	3
	平成34年	2022	29	1	29	1	30	1	36	1	36	1	32	1	192	6	27	1	32	1	27	1	86	3
	平成35年	2023	30	1	29	1	29	1	30	1	36	1	36	1	190	6	32	1	27	1	32	1	91	3
	平成36年	2024	31	1	30	1	29	1	29	1	30	1	36	1	185	6	36	2	32	1	27	1	95	4
平成37年	2025	31	1	31	1	30	1	29	1	29	1	30	1	180	6	36	2	36	1	32	1	104	4	
津沢小・中	平成28年	2016	42	2	38	2	45	2	43	2	39	1	43	2	250	11	36	2	32	1	34	1	102	4
	平成29年	2017	45	1	42	2	38	2	45	2	43	2	39	1	252	10	43	2	36	1	32	1	111	4
	平成30年	2018	35	1	45	1	42	2	38	2	45	2	43	2	248	10	39	2	43	2	36	1	118	5
	平成31年	2019	42	1	35	1	45	1	42	2	38	2	45	2	247	9	43	2	39	1	43	2	125	5
	平成32年	2020	46	1	42	1	35	1	45	1	42	2	38	2	248	8	45	2	43	2	39	1	127	5
	平成33年	2021	30	1	46	1	42	1	35	1	45	1	42	2	240	7	38	2	45	2	43	2	126	6
	平成34年	2022	31	1	30	1	46	1	42	1	35	1	45	1	229	6	42	2	38	1	45	2	125	5
	平成35年	2023	33	1	31	1	30	1	46	1	42	1	35	1	217	6	45	2	42	2	38	1	125	5
	平成36年	2024	33	1	33	1	31	1	30	1	46	1	42	1	215	6	35	1	45	2	42	2	122	5
平成37年	2025	33	1	33	1	33	1	31	1	30	1	46	1	206	6	42	2	35	1	45	2	122	5	

※平成35年(2023年)の小学1年、平成36年(2024年)の小学1・2年、平成37年(2025年)の小学1・2・3年については、平成72年(2060年)の目標人口を22,000人とする小矢部市人口ビジョン(平成27年策定)における推計による。

学校規模の在り方等検討資料

資料 2

※年度別の表記は、学校名及びクラス数

1 小学校(普通学級)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	H34 年度	H35 年度	H36 年度	H37 年度
1～5 学級(複式学級が存在する規模)										
6 学級(クラス替えができない規模)	東部小 6	東部小 6	東部小 6	東部小 6	東部小 6	東部小 6	東部小 6 蟹谷小 6	東部小 6 蟹谷小 6	東部小 6 蟹谷小 6	東部小 6 蟹谷小 6
7～8 学級(全学年ではクラス替えができない規模)	蟹谷小 7	蟹谷小 7	蟹谷小 7	蟹谷小 8	蟹谷小(8)	蟹谷小(7)		津沢小 8	津沢小 8	津沢小 7
9～11 学級(半分以上の学年でクラス替えができる規模)	津沢小 11	津沢小(11)	津沢小 10	津沢小 10	津沢小 10	津沢小 10	津沢小 9			
12～18 学級 (標準的規模)	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 12 大谷小 12	石動小 13 大谷小 12	石動小 14 大谷小 12

2 中学校 (普通学級)

	H28 年度	H29 年度	H30 年度	H31 年度	H32 年度	H33 年度	H34 年度	H35 年度	H36 年度	H37 年度
1～2 学級(複式学級が存在する規模)										
3 学級(クラス替えができない規模)						蟹谷中 3	蟹谷中 3	蟹谷中 3		
4～5 学級(全学年ではクラス替えができる学年が少ない規模)	津沢中 4 蟹谷中 4	津沢中 4 蟹谷中 5	津沢中 5 蟹谷中 5	津沢中 5 蟹谷中 5	津沢中 5 蟹谷中 4		津沢中 5	津沢中 5	津沢中 5 蟹谷中 4	津沢中 5 蟹谷中 4
6～8 学級(全学年でクラス替えができ、 同学年に複数教員を配置できる規模)	大谷中 7	大谷中 8	大谷中 6	大谷中 6	石動中 8 大谷中 6	石動中 8 大谷中 6 津沢中 6	石動中 8 大谷中 6	石動中 8 大谷中 6	石動中 7 大谷中 6	石動中 7 大谷中 6
9～11 学級(全学年でクラス替えができ、 同学年での複数教員を配置や免許外指導 の解消が可能な規模)	石動中 9	石動中 9	石動中 9	石動中 9						

平成28年度小矢部市教育委員会重点施策の概要

第6次小矢部市総合計画及び小矢部市教育大綱（平成28年3月策定）を踏まえ

- 基本目標
- 心豊かな人づくり
 - 心身ともにたくましい人づくり
 - 文化豊かな地域社会の創造

を掲げ、人間尊重の精神のもと、広い視野を持ち、生涯を通じて自己の向上に努めるとともに、社会の平和と進展に貢献し得る心身ともに健全な人間を育成することを目指す。

教育施策の体系

未来を拓く力を育む学校教育の推進

生涯をととした学びの推進

文化芸術の振興と継承及び文化財の保護と公開・活用

生涯スポーツの振興による健康な心と体の形成

未来を拓く力を育む学校教育の推進

児童生徒が人と人との関わりを大切にし、国際化、情報化、高齢化社会などの社会変化に対応しうる、心豊かで、心身ともにたくましい人間となるように、未来を拓く力を育む学校教育の推進に努める。

1 個を尊重した教育の推進と今日的な課題に対応した「生きる力」を育む教育環境づくりの推進

(1) 授業力向上と確かな学力の育成

富山県における小学3年生少人数学級選択制の導入に伴い、状況調査、課題整理を行うとともに平成29年度以降の導入について検討

(2) 福祉・環境・国際理解・情報教育の推進

ベトナム国タインホア省から派遣団を受入れ、小矢部園芸高校生との交流や農業施設の視察等を実施

小学校のPC教室のパソコンの更新

(3) 読書活動の推進

富山県教育委員会主催の「図書館教育講習会」に学校司書を派遣

(4) 特別な支援を必要とする児童・生徒への適切な教育の充実・推進

スタディメイト配置の充実（待遇（賃金）の改善を実施）

(5) 幼児教育の充実 (6) 幼稚園・保育所・こども園、小学校、中学校の連携推進 (7) 就学・就園支援の推進

2 健やかな心の育成

(1) 社会性、自立心、規範意識、思いやりの心を育む教育の推進 (2) 児童生徒の自己指導能力の育成

(3) 人権教育の充実 (4) 児童生徒指導及びいじめ・不登校等への対応の充実 (5) 相談事業の充実

(6) ふるさと教育の推進 (7) 体験学習の推進 (8) 芸術文化種等の推進

(9) 平和教育の推進

毎年8月6日に広島市で開催される平和記念式典に中学生を派遣

3 体力づくり・健康教育の推進及び食育等における家庭との連携

(1) 体力づくりの推進 (2) 中学校種痘接種等の推進 (3) 健康教育及び食育の推進

(4) 安全・安心な学校給食の提供

学校給食センターの蒸気ボイラー改修、ネットコンベア型食器洗浄機1台を更新

(5) 家庭との連携

4 多様なニーズに応える教職員の育成

(1) 効果的な研修の推進 (2) 校内研修の充実 (3) 個人研修の促進

(4) 派遣研修の推進 (5) 教員の辞職活用能力向上と教材開発の推進

5 安全安心な学校づくりと学校教育環境の整備

(1) 学校施設の整備・改修と教材備品の整備・充実

(学校施設の整備・改修)

・石動小学校空室設備を整備

・東部小学校駐車場舗装工事の実施

・津沢小学校非常階段修繕

・大谷小学校グラウンド暗渠排水設置工事の実施

・蟹谷小学校遊具（はんと棒）修繕

(教材備品の整備・充実)

・中学校の数学科用にデジタル教科書を導入

・各小中学校理科室にデジタルテレビを配備

(2) 安全教育の推進と安全管理の徹底

(3) 通学等の安全確保

中学生の冬季における通学対策を実施（平成26年度～）

6 小中学校統廃合の検討の継続

(1) 小中学校統廃合審議会答申に基づく検討の継続

(2) 「公立小中学校の適正規模、適正配置に関する手引」に基づく検討

平成27年1月に文部科学省から通知のあった「公立小中学校の適正規模、適正配置に関する手引」に基づき小中学校の統廃合等について検討

生涯をととした学びの推進

社会の変化に対応し、市民が生涯にわたり学習できる環境づくりと機会の拡充に努める。

1 生きがいのある充実した人生を送る生涯学習の推進

近年の急激な高齢化社会の進行に伴い、市民の学習ニーズは一層多種多様化している。こうした中で、すべての市

民が生涯にわたって多くの人々と楽しみながら学習できる場と機会の拡充を図るとともに、生涯学習を推進することにより活力ある地域づくり、人づくりに努める。

- (1) 生涯学習推進体制の充実 (2) 生涯学習機会の拡充

2 心のふれあいを深める社会教育の推進

市民一人一人がお互いに心の交流を深め、家庭・学校・地域が一体となり、明るい教育環境づくりを推進し、社会教育の一層の振興に努める。

- (1) 家庭・地域における健やかな子どもの育成 (2) 社会教育活動の推進 (3) 公民館活動の推進
(4) 図書館活動の推進 (5) 勤労青少年ホーム活動の推進
(6) 社会教育施設の充実と適切な管理・運営体制の整備の推進

(公民館)

- ・南谷公民館駐車場建設工事の実施
- ・松沢公民館駐車場用地の購入
- ・公民館トイレ改修工事の実施(埴生、北蟹谷、若林、東蟹谷)

(総合会館)

市民体育館について、耐震補強工事及び大規模改修工事に係る実施計画の策定

(市民図書館)

新市民図書館の移築整備に向けて、基本計画を踏まえた実施計画の策定

老朽化している総合会館、勤労青少年ホーム及び石動コミュニティセンターについて、整理統合施設の整備に向けた基本計画の策定

文化芸術の振興と継承及び文化財の保存と公開・活用

伝統文化や民俗芸能の継承及び発展を図りながら新しい市民文化の創造に努めるとともに、歴史的・学術的価値の高い文化財の保存、公開及び活用に努める。

1 文化芸術の振興と継承

心の豊かさや生活の潤いを求める市民の芸術文化に対するニーズに応えるため、文化芸術活動の推進及び芸術鑑賞機会の拡充を図るとともに、市民の自主的な創作や発表・活動を支援する。

- (1) 美術展及び芸術祭の開催
(2) アートハウスおやべの運営と自主事業の充実
地元作家の展覧会や公募による現代アート展等の開催を支援
(3) 子どもたちの芸術活動の推進 (4) クロスランドおやべ自主事業の充実

2 文化財の保存と公開・活用

当市は、桜町遺跡や今石動城跡をはじめ、多くの文化財を有している。近年の生涯学習ブームの中、市民の郷土の歴史・文化に対する関心の高まりとともに、郷土の貴重な文化遺産を後世に伝えるために、文化財の調査、保存及び活用に一層努め、市民の文化財に対する理解と保護意識の高揚を図る。

- (1) 指定文化財の保存・活用の推進

「臼谷の大青水」周辺環境の整備

- (2) 桜町遺跡の活用推進と出土品の国の重要文化財指定の取り組み推進 (3) 松根城跡等の保存・活用
(4) 埋蔵文化財の調査及び公開 (5) 小矢部ふるさと歴史館の活用推進
(6) 小矢部市大谷博物館の整備

大谷博物館の庭園整備、大谷兄弟像の整備

- (7) 伝統芸能等の保存等 (8) 歴史資料等の調査・整理と公開・活用

生涯スポーツの振興による健康な心と体の形成

多様なスポーツニーズに応え、誰もがスポーツに親しめるスポーツ文化の創造を目指して、市民が健康で明るく活力ある生活が送れるよう、生涯スポーツの振興に努める

1 誰もがスポーツできる生涯スポーツ社会の実現

- (1) 体力づくり、健康づくりに向けたスポーツ環境の整備
(2) 学校体育・運動部活動の充実 (3) 競技力向上システムの構築

2 基本施策の推進によるスポーツの振興

- (1) 「仕組みづくり」の推進(おやべスポーツクラブの充実、小矢部市体育協会との連携など)
(2) 「機会づくり」の推進

・小矢部陸上競技場の市民開放デイを開催し、ランニング愛好者等に活用場所を提供。民間施設を活用して、室内温水プール市民開放デイ事業の実施

・子どもから高齢者まで市民の誰もが気軽に参加できる小矢部スポーツフェスティバルを開催

・全国的大会等の誘致及び国内で活躍する選手の誘致に努める(第26回世界少年野球大会富山大会の開催)

・中学・高校生選手の競技力向上を図るために、補助金制度を活用し、将来オリンピック等の各種大会に出場できる選手の育成

- (3) 「人づくり」の推進(スポーツ指導者登録制度の活用、スポーツ指導者の養成など)

- (4) 施設・設備・用具の整備・活用の推進

・小矢部陸上競技場の第2種公認更新に向けた改修、整備

・小矢部陸上競技場スコアボードの改修

- (5) 施設の適切な管理・運営の推進